

厚生科学審議会 疾病対策部会
臓器移植委員会(第78回)

資料4

令和8(2026)年4月15日

移植実施施設における移植辞退集計結果について(報告)

第78回 厚生科学審議会 疾病対策部会 臓器移植委員会

厚生労働省 健康・生活衛生局

難病対策課 移植医療対策推進室

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

移植実施施設における実態の把握について

- 日本医学会の移植関連学会合同委員会において選定されている移植実施施設数は以下のとおりであるが、多臓器・多症例の移植を実施する施設が存在する一方で、中には移植実施件数が少ない施設も一定程度存在し、質の担保の観点から課題が提起されている※1。
- 移植実施件数が少ない施設における現状を把握すべく、令和2年度から令和6年度までの5年間で移植の実施件数が0件であった施設における移植辞退の理由に関する分析を行った。

	心臓	肺	肝臓	膵臓	腎臓	小腸
(参考)移植施設数※2	12	12	23	19	122	13
令和2～6年度(5年間)での移植実績が0件の施設数※3	0	0	1	1	9	7
(公社)日本臓器移植ネットワークから移植手術受諾に関する意思確認が行われた施設数	0	0	1	1	5	1
移植手術受諾に関する意思確認が行われた件数	0	0	13	16	73	1095※4

(公益社団法人日本臓器移植ネットワークからのデータを移植医療対策推進室にて集計)

※1 令和7年6月6日の衆議院厚生労働委員会において、移植を全く実施していないような施設もあるような中で、国が移植実施施設の選定に関与し、質を管理していくべきではないかという御意見をいただいた。

※2 (公社)日本臓器移植ネットワークに登録している施設(2025年8月27日現在)

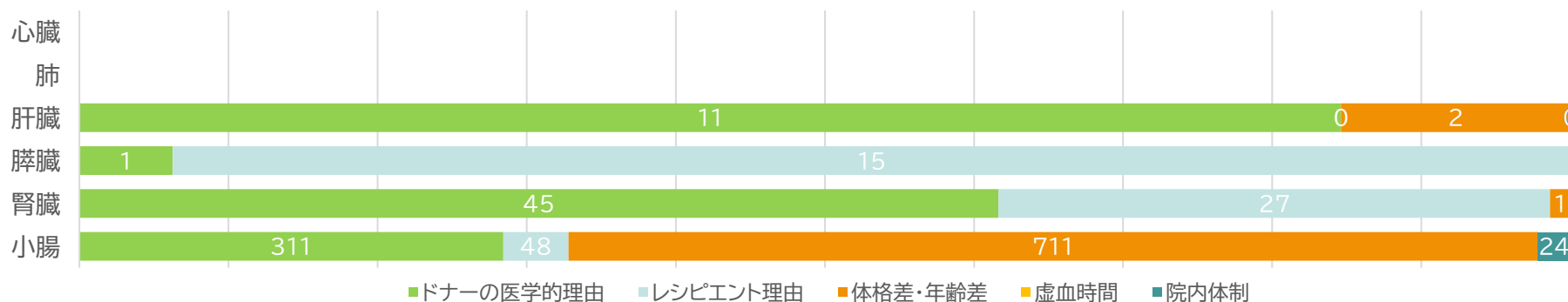
※3 移植実施施設として認定されてから5年経過していない施設は含んでいない。

※4 令和6年の脳死ドナー130名に対して、小腸移植成立件数は2件であり、小腸の移植成立割合は低い。

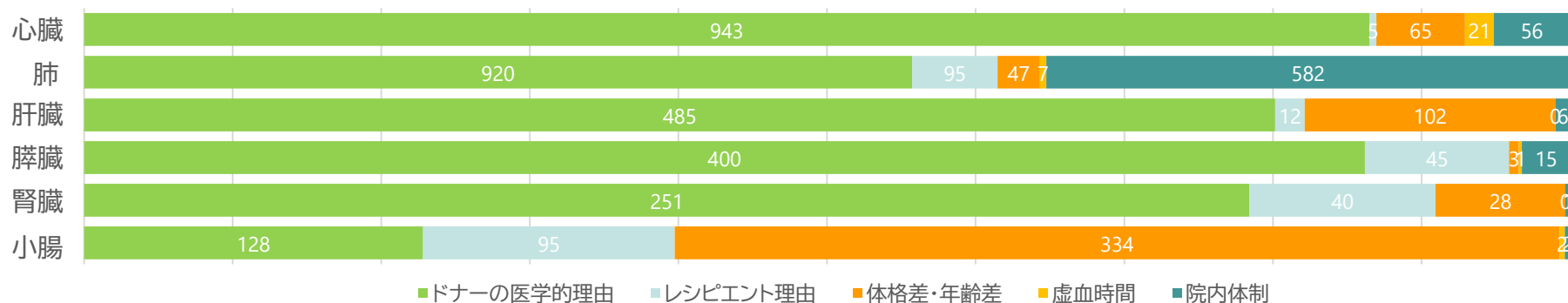
移植実績のない施設における移植辞退理由について

- 移植を辞退した理由の大半は、ドナー側やレシピエント側の医学的な要因または体格差などの外的要因によるものであり、院内体制を理由とするものではなかった。
- 院内体制を理由に辞退した例は小腸のみであり、24件のうち、人員不足に起因するものが12件、詳細理由が不明なものが12件であった。

令和2-6年度の5年間で移植実施数が0件であった施設における5年間の辞退理由の総計※1



(参考) 令和6年 移植実施施設における移植実施の辞退数等に関する集計結果



注) いずれの結果も、1レシピエントにつき1つの理由を集計している。 ※1 小腸の辞退集計には表記以外に詳細不明1例が存在する。